

民主島根

2017年
2.26
第1282号

発行所 松江市袖師町3-6 TEL 0852-24-2444
日本共産党島根県委員会 FAX 0852-24-6369

衆院選 市民と野党共闘の実現を 「住民目線の会」が県委に要望

福島共代表が野党間の話し合い求める



衆院選での野党共闘を呼びかける(右から2人目)福島氏ら(松江市)

「住民目線で政治を変える会・山陰」は17日、日本共産党県委員会を訪れ、「野党共闘の実現を求める要望書」を提出し、懇談しました。

昨年夏の参院選で、鳥取・島根選挙区の野党統一候補としてたたかっていた福島浩彦共同代表ら5氏が訪れました。

福島氏は「安倍政治を変えるには、市民と野党の共闘が不可欠。野党共闘実現へすべての野党がお互いを尊重した真剣な話し合いを進めてほしい」と要望。後藤勝彦県委員長は、同じ思いだと述べたうえで、「要望を真面目から受け止めて、島



民青

若者雇用で県と意見交換

岩田 県議団ら同席

根1区・2区で野党共闘を実現できるよう努力を

民青同盟県委員会は15日、若者の雇用と労働のあり方について、県商工労働部・雇用政策課の

得能昌信課長と意見交換しました。田辺美帆県委員長ら7人の青年が参加しました。

労働組合で働く田辺洋さんは、介護職の男性から相談を受けた経験から「就業規則を従業員が知らない。そもそも明示されていない実態がある」と語りました。

得能課長は、特に人材不足が顕著な分野が介護・福祉であると、「よ

り良い職場をつくることで、島根に多くの人が住んでほしい」と話しました。

日本共産党の岩田たけし衆院1区予定候補、尾村利成、大国陽介の両県議、吉井やすみ出雲市議予定候補が同席しました。(写真)

就学援助、奨学金制度改善を

松江市議団が教育長に申し入れ

日本共産党松江市議団は10日、市教委に対し、就学援助の学用品費と高校生以上が対象の「松江市ふるさと奨学金」(無利



子貸与)について支給時期、内容を改善するよう申し入れました。(写真)

出雲ガスの自民党への献金

大国県議・市議団が市に説明求める

出雲市が出資している「出雲ガス」(森山健一県議)が自民党出雲市第2支部に献金していたことが明らかとなり、政治資金規正法に抵触している問題で13日、日本共産党出雲市委員会は長岡秀

入市長に宛てて、市民への説明と調査、政治的責任を明確にするよう申し入れました。

応対した伊藤功副市長は「しっかりと受け止め、後日書面にて回答したい」と述べました。

鼓動

十数年前、小欄に「あれ以来、2月になると決まって遠く離れた故郷の母を想うようになった」と書いた。しかし、その母も昨年4月、89歳で他界した。「あれ以来」とは、小林多喜二の母、セキが覚えたての文字で書いた「あーまた2月がきた」との一文に出会って以来だ。▼党員作家・多喜二は、1933年2月20日、特高刑事の凄惨な拷問を受けて絶命した。享年29歳だった。その遺体にすがってセキは「もう一度立たねえか」と揺すった。そして、後年、「この2月とゆめいやな月、こいをいっぴいになきたい」と記した▼今、映画「小林多喜二の母の物語」(山田火砂子監督)が封切られている。その母親(セキ)役の寺島しのぶさんは「セキさんは、なぜ小説を書いたくらいであんなむごい殺され方をするのかと死ぬまで考えていた人。海のように深く広く、芯の強い女性です。そこに本当に心を打たれました」と▼この多喜二を拷問死にへと追いやったものこそ、あの悪名高い「治安維持法」であった。政府は制定当初(1925年)は「範囲を広げない。労働運動を防止することは考えていない」と明言。しかし、わずか3年後に、最高刑を死刑に、弾圧の対象も大幅に拡大した。その後、共産党員だけでなく数十万人が検挙・拘留された▼今、共謀罪法案が浮上。日本の治安体制を研究してきた荻野富士夫・小樽商科大特任教授は「共謀罪は一度成立すると際限なく拡張解釈される。まさに『現代の治安維持法』です」と糾弾する。セキの母としての苦難・苦悩の歴史を繰り返してはならない。(吉)

力あわせ、未来ひらく。 日本共産党演説会

3月5日(日)

弁士
参院議員・党副委員長

田村 智子



●午前10時30分～ 出雲・朱鷺会館

ごあいさつ

垣内 京美
むこせ慎一
井原 ゆう
ごとう由美
吉井やすみ

衆院比例予定候補
衆院島根2区予定候補
出雲市議
出雲市議予定候補
出雲市議予定候補

●午後2時～ 松江テルサホール

ごあいさつ

垣内 京美
岩田たけし
たちばな祥朗
吉儀けい子
田中はじめ

衆院比例予定候補
衆院島根1区予定候補
松江市議
松江市議
松江市議予定候補

松江生健会が定期総会 社会保障改悪ストップを 尾村県議が記念講演



「松江生活と健康を守る会」は19日、松江市で第46回定期総会を開きました。総会では、安倍政権のもとで生活保護や介護保険など社会保障分野にわたる切り捨てが進む中、今年が社会保障充実のため一致点での共同を広げ、安倍政権を退陣に追い込む重要な年であることを確認。今年度の具体的な活動方針と予算、新役員を決めました。

尾村県議は「日本共産党の尾村利成県議が記念講演し、「市民を強く働きかけていく。」「上代かずみの議会報告」より）」と語り、安倍政権を退陣に追い込む重要な年であることを確認。今年度の具体的な活動方針と予算、新役員を決めました。

地域の話題 アッコム

教育環境整備を 向田議員が要求

向田議員「教育の目的は、子どもの全面的な発達を保障し、一つの事柄に頼ることなく、調和の取れた人格の完成をめざすものである。その上で、確かで豊かな学力を支えている学校司書の役割は大変大きくなっている。職務の重要性と内容の多さから考え、処遇の改善が必要と考えるがどうか。」

奈良井教育部長「情報資料の提供など、専門家として学校司書の役割は今後ますます重要になっていくと考えている。県の補助事業の拡充に向けて働きかけをしていきたい。」

奈良井教育部長「情報資料の提供など、専門家として学校司書の役割は今後ますます重要になっていくと考えている。県の補助事業の拡充に向けて働きかけをしていきたい。」

子ども医療費助成 上代議員が質問

上代議員「子どもの貧困が大問題になってきている。雲南市では、子どもの医療費は中学卒業まで無料となっているが、高校卒業まで広げるべきである。また、子どもの医療費を無料にしている自治体に対し、国保の国庫補助を減額するペナルティーは言語道断と考えるがどうか。」

速水市長「医療費の無料化は、本来、国の責任で行うべきであり、自治体が代役すること自体おかしく、高校卒業までは考えていない。ペナルティーについては、撤回を強く働きかけていく。」「上代かずみの議会報告」より）」

速水市長「医療費の無料化は、本来、国の責任で行うべきであり、自治体が代役すること自体おかしく、高校卒業までは考えていない。ペナルティーについては、撤回を強く働きかけていく。」「上代かずみの議会報告」より）」

就学援助金増額を 伊藤議員が提案

伊藤議員「国の2017年度予算案で要保護世帯の就学援助費のうち、新入学児童生徒の入学準備費用の国の補助単価が2倍に引き上げられた。地方自治体でも動きがあり、群馬県太田市では今年から小学校4万円、中学校5万円に増額すると聞いている。本町でも支給金額を増加する必要があると考えるがどうか。」

教育長「群馬県太田市の例は歓迎し、国の財政措置をお願いしたい。教育委員会だけで対応できることではないので、気持ちをしつかりと受け止めた。」「伊藤好晴の議会報告」より）」

教育長「群馬県太田市の例は歓迎し、国の財政措置をお願いしたい。教育委員会だけで対応できることではないので、気持ちをしつかりと受け止めた。」「伊藤好晴の議会報告」より）」

松江 Make Peaceの集い 厚名教授が講演



「憲法9条は世界の宝 Make Peaceの集い」(憲法改悪反対!5・3実行委主催)が19日、松江市で開かれ、厚名教授が「いま自衛隊と憲法が危ない」をテーマに講演しました。(写真)

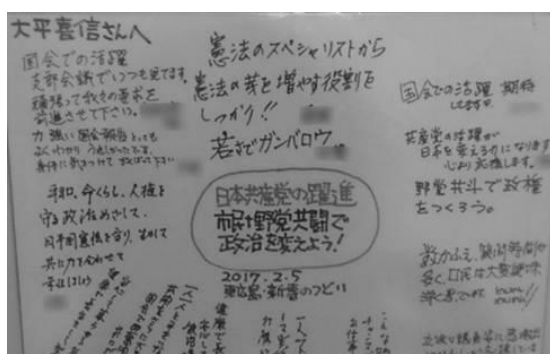
国会内での野党共闘も発展中 共闘広げ、安倍政権追いつめよう

1月20日、通常国会が開会しました。冒頭、安倍首相の施政方針演説と各党代表質問が行われ、安倍首相が演説でも答弁でも、ひたすら力を込めるのは民進党などへの攻撃です。自分たちの都合の良い数字を並べ、「お前らにはできなかったことを俺たちはやったんだ、お前らの時よりいい数字が出ている」などと繰り返し、自民党議員らも目いっぱい拍手と声援でこたえる。参議院の自民党幹事長は、代表質問で延々と安倍首相の持ち上げをやりま

大平よしのぶ 衆議院議員
アツく やさしく

自分たちの政策をまともに語れず、同時に、野党共闘や国民のたたかひの広がりへの脅威——あせる姿に他なりません。先日の衆議院予算委員

宮本徹議員が質問に立ち、私はその隣でパネルを出す役でした。宮本徹議員が安倍首相に対し、「私は『老人と病人は早く死ぬと政府は言っているのか』という声をたくさん聞く。あなたにはそういう声が聞こえないのか」と質問すると、首相は「私はまったく聞いたことがありません」と答えま



この間、社会保障費の「自然増」は削りに削って3兆3千億円、他方で大企業を中心にした法人税減税は4兆円。誰が誰のため、よくわかる一幕でした。一方、野党席からは宮本議員の鋭い追及に「そうだ!」「おかしいぞ!」などの声が続々と上がり、委員長席に詰め寄る場面も。国会内での共闘も引き続き強く発展中です。私も、ますます国民の声を届ける論戦に全力でがんばります。(写真は、東広島市・新春のつどいで寄せ書き 2月5日)

150人が熱心に耳を傾けました。厚名氏は冒頭、国会での南スーダン情勢をめぐる稲田防衛相の言い訳答弁や、共謀罪に対する金田法務相の二転三転した答弁にふれ、「今の政治は事実と向き合わず、事実を欠いた情念の政治だ」と批判しました。自衛隊の南スーダン派兵の狙いについては、石油資源収奪への軍事力の投入と自衛隊の国軍化を見据えた新たな役割の誇示にあると力説しました。

島根原発再稼働絶対止めよう! 県民集会

●日時:3月11日(土)
集会 14:00~/パレード 15:00~16:00

●会場:末次公園(松江市役所向かい)

呼びかけ団体:
島根原発・エネルギー問題県民連絡会